

2023 年度 小規模多機能型居宅介護 樹林

事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月8日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	3人	2人	8人

前回の改善計画	スタッフ全員で実施計画の目的を理解し、作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果	8月～10月にかけて、スタッフ全員に担当のおとしよりを決め、実施計画を作成するよう依頼。スタッフが個別でおとしよりに聞き取りを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7	1		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7	1		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		7	1		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	2		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
情報共有：申し送りノート・ミーティングなどで必要な情報は共有できている。利用開始前の情報は計画作成担当者が個人ファイルに情報シートを挟んでくれている。 初期の関係づくり：どのスタッフも本人の話やご様子を見て、必要であればご家族に連絡帳でお伝えしたり、電話や直接会うことで不安を解消させている。 実施計画：スタッフ全員が担当を持ち、顔を合わせて聞き取りを行い、実施計画の作成ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティングに出席できていないスタッフがある程度的人数いる。 ・実施計画の作成まではできたが、本人のニーズの確認が全体で共有出来るところまで進められていない。実施計画作成の意図が伝えきれていない。(時間の余裕がなかった) ・スタッフ全員が同じサービスが実施できていない。(スタッフ個々の勤務時間の違いなどかかわり方に差がある) ・サービス実施開始した空の細かな計画修正が記されていない。(実施計画書の意図が理解できていない) ・実施計画をもとにした記録がされていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
実施計画をもとに、個別のケース検討を毎月のケースミーティングで順番に行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月8日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	人	8人

前回の改善計画
おとしより個々の希望が達成できるように普段からできることを気にかける。

前回の改善計画に対する取組み結果
実施計画をたてることで、おとしより個々の希望を意識し、普段の体操や、散歩などできることをスタッフが見つけて実施することができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	1	3	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	1	2	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	4	1	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	3	2	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々のかかわりの中で本人の以前の暮らし、趣味、関心や興味を聞き取り、「～したい」を引き出す。
・生活リハビリを念頭に、洗濯物をたたむ、食器洗いの手伝いをしてもらっている。
・スタッフが本人の「したい」を聞き取り実現しようと努力している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
人材不足のため、本人の望みに添えないことがある。(外出や買い物などに対応できない)
実施計画を読み込む時間がないため、スタッフ全員が個々の望みを共有できていない。
本人やスタッフの困りごとに目が行きやすく、困りごとを解決することを優先している。本人の望みに目を向けられていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
〇〇したいことを1個以上具体的に実施計画に書き込む

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日

3. 日常生活の支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	3人	1人	8人

前回の改善計画
おとしよりの日常会話で聞き取ったことを記録し、共有できるような書式を作る。それを樹林での生活に活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
書式は作成できなかったが、スタッフが意識して聞き取りをし、気になった会話は記録するように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1	3	4	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		7			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		3	4	1	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		7		1	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		7		1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
体調の変化や気持ちの変動など、現場ですぐに伝えて、柔軟に対応できている。また記録に残すよう努めている。記録が出来ない時はメモや、口頭で伝え、記録できるスタッフがする。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務に追われて記録する時間がないため、おとしよりの日々の変化が記録できない。事業所として記録のしやすい、見やすい書式の工夫ができていない。 日常の会話など、大きく気になるまでなかなか記録が出来ない。 本人が声に出せない気持ちを汲み取れていない。本人に聞いても「忘れた」「覚えていない」との返答がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日常の気づきを簡単にメモ（付箋）で残す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	2人	人3	人8

前回の改善計画	民生委員さんとの関係を繋げる。おとしよりの面談の中で近所の関係ついて聞き取るよう項目に入れておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議で民生員様に樹林の利用状況を説明し、民生委員様と顔見知りになりたいことをお伝えする。民生委員様の名前や顔を把握できるよう写真を事務所に掲示するなど意識するようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		3	3	2	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4	1	3	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3	4	1	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？			5	3	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 計画作成者や管理者が近所の方とつながるように働きかけている。スタッフが訪問時に近所の方やご家族とお話をする、スタッフに声を掛けて下さることもできた。本人の生活の困りごとを近所の方が教えて下さることもある。 民生委員様が樹林に担当の方について尋ねに来て下さることがあり、普段の様子などの情報共有することができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 樹林利用時以外のおとしよりの生活の状況を把握できていないし、難しい。 各おとしよりに関わって下さっている担当の民生員様を把握できていない。 スタッフが地域の皆さんと馴染みになる関係になれていない。地域資源に何があるのかを把握できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 全体ミーティングで地域資源（散歩の方々、バス停、心の支え、お地藏様など）についての意見交換をする。事前に議題をアナウンスする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	地域の方に樹林スタッフだけでは出来ない事(古タオルの回収や草引き)をお願いする。樹林便りを発行する。地域サロンに出かける。近所の美容室にカットに行く。散歩に出かける。
前回の改善計画に対する取組み結果	樹林便りを出し、地域の方に樹林の様子やボランティアのお願いをすることができた。地域のイベントに参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6			7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	5			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	7			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	5	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
樹林便りの発行ができた。地域イベントへの参加、美容室の利用、散歩に出かけることができた。ボランティア担当のスタッフがボランティアセンターと連携し、毎月様々なボランティアさんが訪問して下さり、お年寄りの楽しみになっている。	
お年寄りの急な変化については現場で判断し、臨機応変に対応出来ている。普段から記録を行い、急な変化からの対応、経過、対処について把握し、幅広い援助の方法で対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域への樹林のアピールがまだまだ不足している。	
ニーズや変化の対応について、月曜日と火曜日の宿泊の受け入れ態勢が整っていない。スタッフそれぞれの多機能性の意識の違いがある。	
各スタッフの日々の動きを決めすぎているので臨機応変に対応出来ない時がある。	
人手不足のため、その日その時のニーズに対応出来ないこともある。また、おとしよりのニーズに何でも聞き入れることはできない。自立支援に沿っていないニーズもある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
全体ミーティングで、スタッフの多機能性について意見交換をする	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日

6. 連携・協働

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	4人	1人	人	8人

前回の改善計画	イベント（流しそうめんや焼き芋大会など）を復活し、地域の方にも参加いただく。窓を開けて登下校の小学生や散歩の保育園児にみんなで挨拶する。
前回の改善計画に対する取組み結果	樹林内で行事を再開することができた。地蔵盆や芋掘り、焼き芋は地域の方に参加いただくことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	2		3	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2		3	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		5	1	2	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	2	2	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
イベントが復活し、地蔵盆は地域の方に沢山参加いただくことができた。焼き芋は民生委員様のご協力をいただくことができた。 保育園児やいつも樹林の前を散歩される方に挨拶や声掛け、会話をさせてもらって、馴染みになり、いつも手を振って下さる方もいる。 管理者や計画作成担当者が地域会議に参加し、石部南学区の団体とかかわりが持てるようなきっかけづくりをしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
イベントを開催できたが、地域住民が樹林の中まで入って交流することはまだまだ難しい。関係づくりができていない。 地域イベントにおとしよりやスタッフも積極的に参加してほしいが、参加するためのスタッフの手が足りない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
避難訓練（水消火器）に38組の方に案内する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日

7. 運営

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	2人	1人	人

前回の改善計画
おとなり、近所の方とあいさつ以上の会話ができる様に努め、日頃の信頼関係を深める。
ミーティング以外でも常勤者がスタッフの話を聞き取り、情報共有ができる様に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
イベントの案内チラシを配布する際の声掛け、施設内から外出した際の挨拶などを心掛ける。
スタッフがいつでも相談できるような姿勢でいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	5		1	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6			6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		3	1	1	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		2	4		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日常業務の中（洗濯干し、送迎時、ゴミ出し）で近所の方に挨拶ができる様にしている。顔なじみの近所の方とは会話をすることもある。
おとしよりや家族からの苦情に、訪問しての説明など丁寧に対応を行っている。
ミーティングや個別にスタッフからの意見を聞く時間を設けている。半期に一度個々の面談を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
草引きや避難訓練など、地域との協働した取り組みが進められていない。顔なじみからもう一歩進める必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
スタッフ間のコミュニケーションの改善（少人数でのスタッフ懇親会 年4回）を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	4人	1人	2人	8人

前回の改善計画
各スタッフが年間1回以上、外部研修に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果
年度初めより、目標を何度も伝える、研修の募集を掲示するなどして研修の参加を啓発してきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	4	1	2	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	1	3	8
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	3	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	1	2	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修の掲示がされていたので参加しやすかった。
資格取得やスキルアップの研修に参加しているスタッフがいる。
リスクマネジメント（ヒヤリハットがあった時に用紙に記入、ミーティングで共有している）

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修が勤務時間外にあるため、個人的な都合で出席できない。短時間勤務のため、研修の意欲がない。
リスクマネジメント意識が低い。人によってリスクの感じ方が違う。
どのような原因で事故につながるのか、危険の予知を事業所全体で考え、対策を徹底しないといけない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
事故・ヒヤリハットの報告をケースミーティングで発表する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日

9. 人権・プライバシー

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	7人	1人	人	8人

前回の改善計画	おとしよりがおられるフロアでのスタッフ間の連絡や相談内容は個人名が特定できないようにする。または別室で話をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前より、個人名が出ないようになった。しかし、スタッフの私語が大きかったり、乱暴なことば使いがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5	3			8
②	虐待は行われていない	6	2			8
③	プライバシーが守られている	1	6	1		8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1		2		3
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	4	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人情報について、細心の注意を払ってスタッフ同士申し送りを行っている。おとしよりから他の方の個人情報を尋ねられてもお断りしている。 身体・言葉での拘束、虐待はしているつもりはない。 丁寧なことば使いについてミーティングで何度も注意を行い、意識できるようになってきた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症のおとしよりに否定するようなことば使いが見られた。人前でプライバシーの侵害になるような内容を発しているスタッフがいた。ことば使いが丁寧でない場合が見られた。 人手不足でつい簡単な声掛けで済ませてしまったり、「待っててください」とおとしよりにすぐに対応できないことがあった。スタッフに心の余裕がなく、乱暴なことば使いになっていることがあった。多人数のスタッフの会話は声が大きくなり、配慮が欠ける場合がある。スタッフの言葉使いの意識が低い。 うっかりや、聞こえないとっていたり、スタッフの個人情報保護の自覚が低い。 個人ファイルが机の上にはってあることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
パワーハラスメントの研修会（法人内研修）を開催する	